



ひしのみ

山形市立明治小学校
学校だより
R4.1.27発行
第15号
校長 横山 聡

感染防止に努めながら学習を進めています

年末年始は新型コロナウイルスの感染状況もおちついていて、校外学習や外部講師を招いての学習、児童会活動やたてわり班活動など、学年末のゴールをめざしてみんなでがんばろうと3学期のスタートをきったところでしたが…。保護者の皆様には、過日配布した文書で、3学期の教育活動の変更についてお知らせをしましたが、日常的に大きく影響していることは、学年を越えての感染を防ぐため異学年の交流を避けなければならないことです。



5学年 隣の人と距離をとってリコーダー学習

たてわり班活動は、高学年にとっては下級生の手本となる自覚や責任を持つことの大切さ、下級生にとってはみんなで協力することの大切さを学ぶ貴重な機会です。3学期に予定していた、たてわり班ごとの清掃は中止となり、6年生の運営委員会が中心になって企画・準備を進めていた「スタンプラリー集会」も延期となりました。

これから、児童会の活動のまとめの時期であり、「6年生を送る会」も予定しています。異学年が一つの教室に集合することなく話し合いをすすめるために、タブレットを使ってリモートで話し合いをすることも検討しています。

感染予防に努めながら、できることにしっかり取り組み、子ども達が満足して学年を修了することができるように努めて参ります。

華やかな団子木ができました！

1月13日（木）に、明治地区教育振興会主催で1年生が「団子さし」を行いました。

昔は各家庭で団子刺しをしたり、初市で団子木を買い求めて座敷に飾ったりしていましたが、最近では住宅事情もありだんだんと見られなくなってきました。本校では、1年の生活科の学習として取り組んでいます。

昨年度同様、感染防止対策のため団子づくりは行わず、昇降口で活動しました。教育振興会会長の阿部様の進行のもと、町内会連合会長の室岡様、コミュニティセンター所長の佐藤様より、団子さしの由来などのお話をうかがった後、さっそく飾りつけ開始。準備された紅白の団子をさしたり、鯛や小判など色とりどりのふながし、1年生が作った飾りを吊り下げたりしました。

昇降口全体が華やかで明るい雰囲気になりました。活動後の1年生の感想は「とっても楽しかった！」でした。

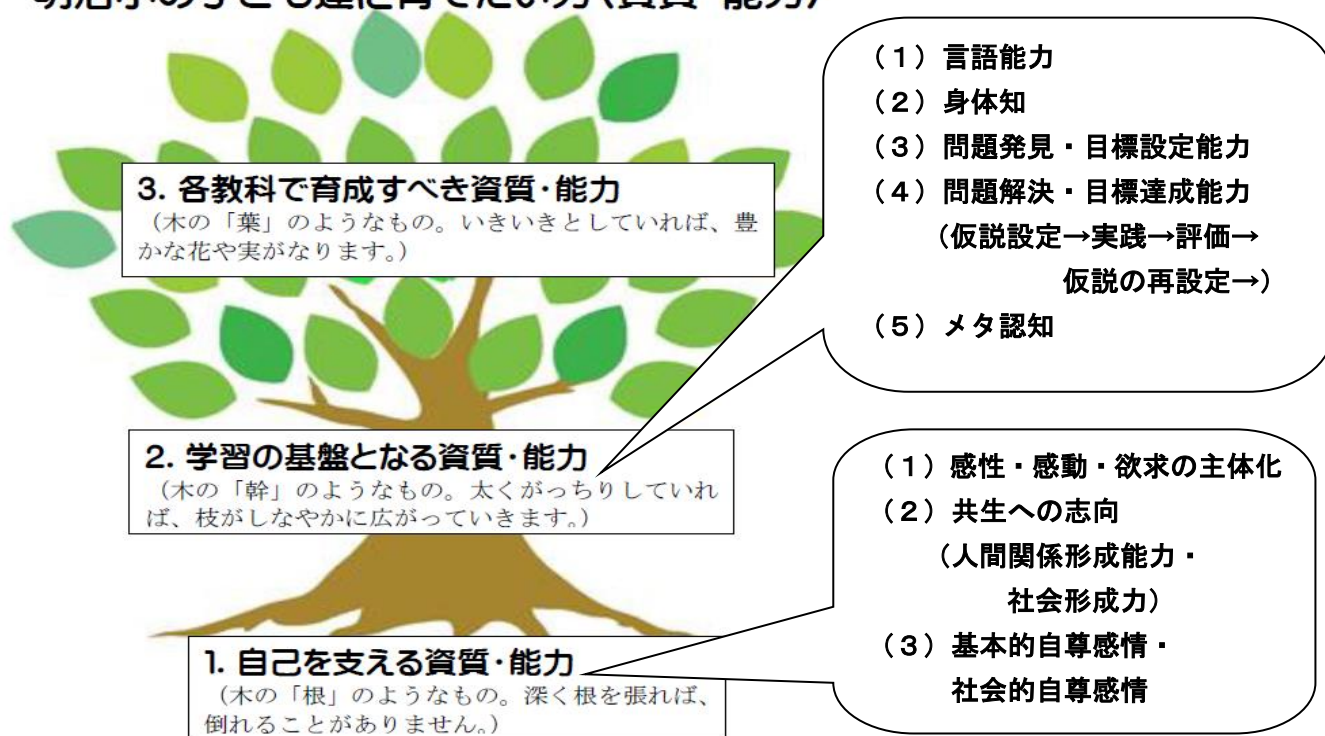
ご協力いただいた関係の皆様にご心よりお礼申し上げます。



学校・家庭・地域で連携しながら・・・

「変化が激しく予測困難な現代において、学校に求められる教育とはどのようなものか。私達教職員も学び続けなければならない」と考え、4月から授業研究やICT研修など研修を重ねました。その一環として、「明治小学校で子ども達に育成したい力（資質・能力）」を明確にする」という取組みも行い、下図のようにまとめました。2月のPTA 総会で説明をする予定でしたが、その機会がなくなりましたので学校だよりで少しずつお伝えして参ります。

明治小の子ども達に育てたい力（資質・能力）



教育関係の用語が多く、わかりづらいところがあると思いますが、これからも学校だより等で説明して参ります。

今回まずお伝えしたいことは、根の部分である「1. 自己を支える資質・能力」が育っていないと、いくら教科の学習をがんばっても、人生の大切な決断ができなかったり、困難や失敗を乗り越えられずに挫折してしまったりするので、まずはこの根の部分を学校・家庭・地域で連携しながら育てていこうということです。

では、どのような資質・能力が「根」として自分を支えるかというと、(1) 自分なりの美しい、おもしろいなどの感じ方を大切にしたり、やりたいことが自覚できて、それを実現しようとしたりする力 (2) 周りの人は自分の味方であり、関わることは面白いという意識 (3) 自分のよいところも悪いところもあるがままに受け入れ、自分を大切な存在として尊重する感情。「生きていていい」、「自分は自分」と無理なく自然に思える感情。

これらを涵養するポイントは、①身近にいる信頼する人と体験と感情の共有を繰り返すこと。②どんな小さなことでも、自分で決めることを積み重ねていくこと。

そのために、子どもの興味関心に寄り添いながら、対話を通して感情の共有と自己決定を促していくことが大切であり、頭ごなしに指示したり、叱ったりしないようにしましょうと、全職員で確認しました。当たり前のことのようにですが、徹底することは難しいと感じています。ご家庭と連携しながら取り組んで参りたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。